

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

2021年が終わりを迎えますが、皆さんにとってはどのような年でしたか？ コロナ禍で環境が激変した人も多いと思いますが、今は空前の「薬の供給不足」という想像しなかった状況が医療現場では起こっています。

毎年12月に実施されるMR認定試験は、昨年こそ新型コロナウイルス感染症対策のために自宅受験という措置が取られましたが、今年はい会場での受験に戻りました。しかし、受験者数の激減が起こっているといえます。また、薬学教育現場では、24年に順天堂大学が薬学部を創設すると発表したほか、沖縄でも薬学部の創設を検討していることが報じられました。その一方で、第一薬科大学、千葉科学大学、帝京平成大学、北陸大学、新潟薬科大学が定員を減らすことを決めました。

国は定員削減を指導していたため、それにいち早く対応したわけですが、この動きを見て定員削減を検討する大学が増えるのではないかと思います。18歳人口が減る中でも薬学部は増える一方でしたので、薬学部全体の偏差値が下がり、3分の1の大学が定員割れを起こす事態となり、伝統校でも苦戦が見られるようになりました。

卒業延期生を出すことで受験者を絞り、国家試験合格率を上げる大学が増えてきたことから、「ストレート合格率を発表するように」と、国は大学を誘導し始めました。この方法でどのように動いていくのか——。薬学教育の激動はまだ続きます。

メディセレスクール ファウンダー 児島 恵美子